

Rotary



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2017～2018 年度 高山中央 RC 会長テーマ

「いま結束のとき！ 目指そう、新たなる境地!!」

ロータリー：
変化をもたらす

◆会長 中田 専太郎 ◆幹事 谷口 欣也 ◆会報委員長 大原 誠 ◆会報担当 直井 泰司

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	会長支持率
本日 1167 回	56 名	56 名	47 名	—	83.93%
前々回 1165 回	56 名	56 名	38 名	7 名	78.57%

<点 鐘> 会長 中田 専太郎
<ロータリーソング> 奉仕の理想
<高山中央ロータリークラブ職業倫理基準>

<会長の時間> 会長 中田 専太郎

過日行われました 4 月 14 日、15 日の春の高山祭には、友好クラブであります平塚湘南 RC の会員とその奥様など総勢 38 名の皆様をお迎えし、おもてなしをすることが出来ました。



お忙しい中、各所でお手伝いくださいました我が RC の皆様には、本当にご協力に感謝申し上げます。

また、14 日は岐阜で開催されました地区研修・協議会とも重なっておりましたが、高原次年度会長を始めとする皆様には、慌ただしくとんぼ返りをさせていただきまして、当日行われました「銀風」さんでの歓迎会（平塚湘南 RC の例会も同時開催）に出席していただきました。

お疲れのところありがとうございます。重ねてお礼を申し上げます。

私事で恐縮ですが、本年の高山祭はウイークエンドになりますので、かなりの観光客の入り込みが予想され、和菓子屋の経営者としては、そちらの方も些か気になってしまい、果たして充分なおもてなしが出来るのかと、少々心配もしておりました。

もっとも、曜日的なことよりも、もっと懸念されたのが、両日共に雨予報となっていたということであり、そうなりますとユネスコ無形文化遺産に登録された肝心の「屋台」の曳き揃えもないし、夜祭もありません。またお旅所前での「からくり奉納」も中止となりますので、折角遠路を来てくださった平塚の皆様は高山祭の真骨頂を楽しんでもらえません。

そんなわけで、今回ほど天気予報が外れてくれることを願ったことはありませんでした。

ただ結論から言いますと、14 日の夜祭こそありませんでしたが、「銀風」さんでのひとときと、その後の会場を分けて行われた二次会は大いに楽しんでいただけましたし、15 日は午前中の雨で絶望的だと思っておりましたが、「椿屋」さんで早めの昼食をとっている内に雨も上がり、ついに待

望の屋台も登場し、まるでこの日に合わせたかのように咲いてくれた満開の桜を背景に、「からくり奉納」を RC 事務局の窓外にじっくり楽しんで貰うことも出来ました。本当にありがたかったと考えております。平塚湘南 RC の皆様にもきっと満足していただけたのではないのでしょうか？

最後になりましたが、雨やら何やらで、再三スケジュール変更を余儀なくされたのにもかかわらず、常に冷静沈着かつにこやかな笑顔で、2 日間をこなしていただいた岩本友好クラブ交流委員長、本当にお疲れ様でした。

<幹事報告> 幹事 谷口 欣也

○津ロータリークラブより

・第 41 回インターアクト年次大会開催のご案内

日時：8 月 4 日（土）～5 日（日）

会場：高田中・高等学校

○米山奨学奨学会より

・ハイライトよねやま 217

<会報>

・下呂 RC



<地区研修・協議会報告>

次期会長 高原 清人

研修・競技会は、4 つのセッションに分かれて行われました。

開会セッションはセレモニーが行われ、第 1 セッションでは「次期 RI テーマと地区活動方針」を木村ガバナーエレクトが説明され、その途中より会長エレクト・AG・CC 会議が場所を変えて行われました。第 2 セッションは分科会となり、各プロジェクト部門毎に会議が行われました。最後に閉会セッションとなる訳ですが、このころには会場は半分以下の人の入りとなっていました。

さて、私がお話するのは、会長エレクト・AG・CC 会議で心に感じた内容を、私なりに掻い摘んでご報告いたします。



会長エレクト・AG・CC会議で一番心に残った事は、服部パストガバナーによる「なぜロータリーの例会で、ロータリーが語られないのか」というテーマでした。

この問いに対し服部パストは「いつも自らがロータリーのことを考えなさい、そして意識を持って行動しなさい」と言われていると私は理解しました。

その一つロータリー活動とは、心→奉仕の理想（理念）→起こる行動です。常に理念のもとに活動することです。

また、ロータリーの目的やロータリー綱領を意識していますか。まさに日本のロータリー理念ともいべき職業奉仕の原点です。

加えて決議 23-34 をどれだけ理解していますか。

もちろん 4 つのテストもロータリーを語るには欠かせませんが、何より 2 つのモットー「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の理解を深めていますか。

以上のような事柄をつねに意識し、生活していれば例会での同じ仲間同士、まさにロータリーを語り合える意義ある例会となるのではないのでしょうか。

次期会計 都竹 太志

例年と違い土曜日に開催されました。弊社は土曜日にも通常勤務です。午前中で仕事を終えてから岐阜県に向かいました。その為、11時半受付、13時の点鐘には間に合わず第1セッションの途中からの参加となりました。



第1セッションが終わり、第2セッションです。これが来年度に向けた肝心の研修となります。5分遅れて始まりました。「昨夜は酒を飲み過ぎ準備に手間取ってしまいました」なんて司会者のアナウンスがあり、雑念とした中、いきなり岡田さんが出てきて始まりました。元気で良いんですが、内容はよく分かりませんでした。今からの方の研修です。勉強する為の場とは言えない進め方だと思えます。いきなり、柔軟性だとか効果的だとか、どう思うかと指名しながら質問する。そんなの分かりませんよ、と思う中、やはり皆さんも同様で、質問の中味、意図が分からず、質問の中味の問い掛けに終始していました。そんな所で時間も過ぎ終わりました。

次は会計長の話。これも話しと言いながら、いきなり予算案の賛否を取って終了。

よく分からない90分が過ぎ終わりました。

次期社会奉仕委員長 今井 俊治

国際ロータリー第2630地区2018年の地区研修・協議会が先週土曜日に行われ、高原清人会長エレクトほか8名ほどで参加をしてきました。会場は金華山岐阜城のふもと長良川国際会議場と岐阜都ホテルでした。



午前中に昼食を食べた後、午後1時から長良川国際会議場のメインホールで開会セッションが始まり、その後2つのグループに分かれて第1セッションが行われました。バリー・ラシン次年度RI会長の紹介に始まり、テーマである「インスピレーションになろう (BE THE INSPIRATION)」の説明などが行われました。ロータリアンは、地域社会で、世界で「インスピレーションになろう」ということで第1セッションを終了しました。

会場を移動して9つの分科会に分かれ、第2セッションが

行われましたが、今回は奉仕プロジェクト部門ということで伊藤さんと会議に加わりました。

分科会では、部門委員長の宮崎弘夫さんのあいさつに始まり、先日実施されたロータリーメンバーの乗用車のアンケート集計や植樹調査結果の発表が行われました。

その後、伊勢南RCで行われたロータリー財団補助金事例として『「名フィル(名古屋フィルハーモニー交響楽団)が来てくれたんさ！」僕らも演奏できた！』という内容の発表が行われました。

締めめの講評として、加賀修PGが、「何もしなくても一年は終わるが、感動を味わいたいのなら行動を起こしましょう」と締められました。

分科会終了後再びメインホールに集まり閉会セッションが行われ、午後4時55分閉会の点鐘となりました。

往復のレンタカーは小出さんと下田さんにお願ひし、高山に戻ってからは平塚湘南ロータリークラブとの交流会に合流させていただきました。

参加の皆さん長い一日ご苦労様でした。

次期青少年交換委員長 熊崎 元康

私は、青少年奉仕部門の分科会に参加してきました。次年度は当クラブとして、青少年交換について、クラブとしての可能性を研究、検討するという課題を次期会長の高原さんの指示のもと、次年度地区青少年交換部門副委員長 所さんの話を聞いてきました。例年通り青少年奉仕部門は、当クラブでも実施している「出前講座」など、各クラブの活動内容が多岐に亘るため、各事業の説明が非常に短く、中央の諸先輩方のご指導・ご意見が欠かせない、というのが本当のところでした。



数年前にビクトリアさんのサポートを中心になってして頂いた方々のご意見は勿論のこと、多くの会員の皆様のサポートなしには、かなり多くの問題がありそうな事業なので、たとえ研究、検討の委員会でも成り立たないということが、よくわかった分科会でした。

改めて、次年度、皆様方のご指導ご協力をお願いします。全体としての感想

平塚からの来訪の対応と研修協議会への参加が同じ14日に重なり、担当された方は本当に大変だったと思います。

それでも、高山地区3クラブの中で研修に参加した人数が10人以上だったクラブは、中央だけだったのは、さすがだと思いました。



<ニコニコBOX>

平塚湘南ロータリークラブとの友好クラブ行事に参加頂きました皆様お疲れ様でした。無事に帰られたと連絡がありました。見物に場所を提供して頂きました観光協会にも感謝を込めてニコニコへ。
岩本 正樹

昨日の友好クラブ交流会、中田会長・岩本委員長・関係者の方々お疲れ様でした。三富会長よりメッセージがありましたので紹介します。『いろいろお世話になりました。中央高速も空いており順調に平塚に帰りました。最後に特等席で屋台が見る事が出来満足満足です。楽しい時間はアツという間に過ぎました。次年度7月7日ひらつか七夕まつりに是非平塚にお越しく下さい』との事でした。
高木 純

土・日と平塚湘南ロータリークラブとの交流会に参加された皆様お疲れ様でした。
古橋 ひと実

土曜日財布に8万円入っていました。日曜日の朝起きたら5千円になっていました。平塚の皆さんありがとうございました（泣く）
周 信夫

高山祭りにて多数の方にお酒を買って頂きありがとうございました。
二木 公太郎

妻の誕生日にきれいな花をありがとうございました。
西倉 良介

結婚記念日にお花をありがとうございました。いつも助かります。
中田 学

土・日と高山祭りで町内の行事に忙しく働きました。
内田 茂